

頁	行数	内 容	変 更 後
14	1～3	書くということは、……を問い直す行為です。	明朝体をゴシック体に
	10～11	自分の頭の働きを、……認知的活動です。	明朝体をゴシック体に
17	1～3	「問うて、学ぶこと」は、……論文の基本です。	明朝体をゴシック体に
	7～10	しっかりと現実を見つめ、……よい問いだと言えるでしょう。	下線を加える
	11～14	問いを立て、……ほかなりません。	明朝体をゴシック体に
18	6～8	ある目標に向かい、……と言えるでしょう。	下線を加える。および7行目の「問題解決行動」をゴシック体に
23	下から 5	論文の構造をざっと読む力	明朝体をゴシック体に
25	6	素早く読んで概略をつかむ	明朝体をゴシック体に
	8	〈必要〉〈不要〉〈保留〉	明朝体をゴシック体に
	13	1. 〈題名〉〈副題〉を見ます。	1. 最初に〈題名〉〈副題〉を見ます。
	16	〈目次〉〈見出し〉	明朝体をゴシック体に
	17	〈概要〉〈Abstract〉 〈序文〉〈序論〉	明朝体をゴシック体に
	19	〈キーワード〉 〈索引〉	明朝体をゴシック体に
	24	〈終章〉〈考察〉〈結論〉〈おわりに〉	明朝体をゴシック体に
26	3～4	ステップ1で……読み込みます。	明朝体をゴシック体に
	下から 8	片面印刷	明朝体をゴシック体に
27	12	学問として確立された学会誌の論文	明朝体をゴシック体に
	下から 2	4. 印をつけた用紙を順番に並べ、見出しを見て論理の階層構造を確認し、接続表現の使い方を確認し論理の展開の仕方を学びましょう。	4. 片面印刷した論文を並べ、印や見出しを見て、論理の階層構造と接続表現の使い方を確認し、論理の展開の仕方を学びましょう。
28	2～4	片面印刷した……論理の流れがよくわかります。	下線を加える
32	下から 6～3	もし、引用を示さない、……区別することです。	明朝体をゴシック体に
34	6～9	では、どうすればよいのか。……分析的に読みます。	下線を加える。および7行目「多くの論文を読んでみる」と8行目「分析的に読み」をゴシック体に

頁	行数	内 容	変 更 後
	下から 6 ～1	<u>自然科学や心理学の……論文を 目指しましょう。</u>	明朝体をゴシック体に
35	下から 3 ～2	<u>引用に関する知識が、……知識と なります。</u>	明朝体をゴシック体に
37	1	① 怠慢	明朝体をゴシック体に
	7	② 剽窃	明朝体をゴシック体に
	15	③ 無視	明朝体をゴシック体に
55	1	^{オバック} OPAC	明朝体をゴシック体に
65	3～5	<u>題名は、大切です。……と考えて ください。</u>	明朝体をゴシック体に
68	左側のコ ラム 5	……がある。○○ (2017) に……	……がある。○○ (2020) に……
	左側のコ ラム下か ら 6	内容を示す見出しをつける	内容を示す見出しをつける p.63 参照
	左側のコ ラム下か ら 5	○○ (2017) によれば	○○ (2020) によれば
	右側のコ ラム 1	見本レポート	明朝体をゴシック体に
	右側のコ ラム中段	・○○新聞○年○月○日付けによれば ・ 名 (2018)によれば ・○○研究所 (2017) の調査によれば	・○○新聞○年○月○日付けによれば ・ 名 (2018)によれば ・○○研究所 (2020) の調査によれば
69	左側のコ ラム 2	一方、○○ (2017) は	一方、○○ (2020) は
	左側のコ ラム下か ら 8	引用文献 著者名 (2019) 『書 名 』、○○○○出版社 名. ○○研究所 (2017) 「○○○○白 書」、○○○○出版社名. ○○○○(http://○○.go.jp/○ ○○○) (○○年○月○日 閲覧) 著者名 (2018) 「論文の題名」『学 術雑誌名』○巻○号、pp.○ —○.	引用文献 著者名 (2020) 『書 名』○○○ ○出版社名. 著者名 (2020) 「論文名」『学術雜 誌名』 ○巻○号、pp.○—○. ○○新聞 (2020) ○月○日付朝刊 「見出し」. ○○○省「見出し」(https://www.○ ○) (2020 年○月○日閲覧) .

頁	行数	内 容	変 更 後
	右側のコラム中段		[別紙1] とさしかえ
74	7	誠実であること	明朝体をゴシック体に
	下から 1	粘り強く考え抜くこと	明朝体をゴシック体に
100	5	題名のつけ方で、……わかってしまいます。	明朝体をゴシック体に
	6~9	論文は、書き終えていったん……とても大事なのです。	下線を加える
	下から 10	研究内容の要約	明朝体をゴシック体に
	下から 9~8	主題、目的、対象、方法に関するキーワードで構成する	明朝体をゴシック体に
101	7	「の」	明朝体をゴシック体に
109	17~18	なお、頁数が 2 頁以上にまたがる場合は、……記載します。	APA スタイルでは、頁数の前に「p.」は記載しませんが、執筆規程によって、単頁は「p.2」、複数頁は「pp.2-35」と記載する場合があります。
	下から 2~1	……』東北大学出版会、pp.28-40.	……』東北大学出版会、28-40.
110	1	雑誌論文	明朝体をゴシック体に
	2	文章を挿入	著者名（発行年）「論文題目」『雑誌名』巻（号），掲載頁。 24 巻 2 号，pp.76-84.と記載する方法もありますが、APA スタイルでは下記の通り、数字のみ記載します。
	3	……『大学教育学会誌』24、pp.76-84.	……『大学教育学会誌』24、76-84.
	4	論文集	明朝体をゴシック体に
	7	……『日本教育心理学会大会論文集』 p.524.	……『日本教育心理学会大会論文集』，524.
	8	翻訳書	明朝体をゴシック体に
	14	新聞記事	明朝体をゴシック体に
	17	インターネット	明朝体をゴシック体に
	21	文章を挿入	【注意】 〈インターネットの利用で URL と閲覧日を記入する場合〉 <u>引用文献リストに、URL と閲覧日を記入するのは、官公庁や企業のホームページなど、書き換えの可能性がある情報のみです。論文や新聞記</u>

頁	行数	内 容	変 更 後
			<u>事は、ネット情報として検索し閲覧した場合でも URL と閲覧日を記入する必要はありません。</u> 論文や新聞には書き換えがないからです。
	下から 1	……、著者名と発行年を表記するものです。	……、著者名と発行年を表記する方法です。
111	3	(3) 文献リストと注の文末一括記載例	(3) 文献リストの書き方と注の文末記載例
	4	次の例を参照してください ¹⁴⁾ 。	下記の注の記入例と、p.112 の引用文献リストの書き方の例を参照してください。
	5	〈注の記載例〉	〈注の記載例〉 ¹⁴⁾ 注は、引用文献リストの手前にまとめて文末記載する方法と、該当箇所の下段に脚注として挿入する方法があります。pp.107-108 参照。
	下から 5 ～9	(2) 館 (2012) は、……を紹介している。	削除
	脚注 14)		削除
112			[別紙 2] とさしかえ
119	囲み内の 3	<u>主観的な修飾語を混入させない。</u>	下線を削除しゴシック体に
	囲み内の 4～5	<u>明確な根拠を示す。</u>	下線を削除しゴシック体に

文字数の配分の目安	
題名+引用文献リスト	10%
序論（はじめに）	30%
本論	50%
結論（おわりに）	10%

3. 前節の2.とは異なる立場の主張を批判的に検討する
4. 自分の主張の限界補足や代案

5. 「おわりに」の書き方
p.93～95を参照
・ 目的の確認
・ 結論の提示
・ 明らかにできなかったこと
・ 今後の課題

引用文献リストの書き方
p.109～112を必ず参照
・ 書籍
・ 論文
・ 新聞
・ ホームページ

URLと閲覧した日付も記入する

【重要】本文中の引用・引用文献リストのフォーマットは p.68～69 を参照。

〈引用文献リストの書き方：APA スタイルで記載した例〉¹⁴⁾

文献の順番は、APA (American Psychological Association) スタイルに準じてアルファベット順とする。

引用文献

天野郁夫 (2012) 「学年制と秋入学を考える」『IDE 現代の高等教育』541, 12-19.

Barr, R. B., & Tagg, J. (1995). From teaching to learning: A new paradigm for undergraduate education. *Change*, 27(6), 12-25.

Barkley, E. F. (2005). *Collative Learning Techniques: A handbook for college faculty*, John Wiley & Sons, San Francisco. 安永悟監訳 (2009) 『協同学習の手引き——大学教育の手引き』ナカニシヤ出版.

中央教育審議会「学士課程教育の構築に向けて(答申)」(https://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2008/12/26/1217067_001.pdf) (2012年1月6日閲覧).

日本経済新聞 (2012a) 1月21日付朝刊「社会全体で考えたい秋入学」.

日本経済新聞 (2012b) 2月20日付朝刊「秋入学, 変革のうねり 大学開国 1」.

小此木啓吾 (1978) 『モラトリアム人間の時代』中央公論社.

山田礼子 (2010) 「初年次教育の現状と展望」大学教育学会30周年記念誌編集委員会編『大学教育 研究と改革の30年』東信堂, 29-48.

〈学術雑誌論文の場合〉

著者名 (発行年) 「論文題目」『雑誌名』巻 (号), 掲載頁.

〈英文雑誌論文の場合〉

著者名 (発行年) 論文題目, 雑誌名 (イタリック体), 巻 (号) 数 (巻数はイタリック体), 掲載頁.

〈翻訳書の場合〉

原著者名 (発行年). 書名 (イタリック体), 発行所, 発行地. 訳者名 (翻訳書発行年) 『翻訳書名』翻訳書の出版社名.

〈インターネットや省庁ホームページからの引用〉

掲載元 「ページの見出し」 (URL) (引用者の最新閲覧日).

※学術論文や新聞をインターネットで検索した場合は URL と閲覧日を記載する必要はない。p.111 参照

〈新聞の場合〉

新聞名 (発行年) 日付, 朝刊「見出し」

〈同著者で発行日が同年の場合〉

(発行年 a), (発行年 b) とする

〈単行本・書籍の場合〉 著者名 (発行年) 『書名』出版社名.

〈単行本の特定の章の場合〉

章の著者名 (発行年) 「章の題目」収録されている単行本の編者名 『書名』出版社名, 掲載頁.

14) 井下千子 (2013) 「入学前教育の動向と課題——ギャップタームをどう活かすのか」『初年次教育の現状と未来』世界思想社. における注ならび引用文献リストを改変して作成した。